## 建物罹災届

												年		月	日
宮田	消防署長	様													
				者	住										
						氏	名								印
						工十万	.H								
出火日時			年		月	日		時		分頃					
罹	災場所														
罹	災物件	住所電話													
のj	所有者	職業 氏名													
	罹災前	構造	構造			ř	告		階列	<b>基</b>				壁	
	の状況	用途				建築面		$m^2$		延べ面積		m²			
建 物	罹災前の経過	建築年	月			年			建築金額						円
か の い		購入年	月			年			購入金額						円
の状況		増改築年月			増改築の概要				増改築面積			増改築金額			<b>全額</b>
		2	年 月						n			円			円
		2	年	月							$m^2$				円
	氏	氏 名		職業		年齢	続柄	扂	居住世帯数			世帯			
								扂	居住人員数					人	
罹								保隆		食会社名		契約保険金額			
災								,	人						
者								- S	人災呆倹						
								B	倹						

## [記載要領]

- 1. 届出者は、罹災物件の所有者又は管理者です。ただし会社の更衣室等で罹災者が多数の場合は代表者が一括して罹災者との関係が明らかになるよう同一番号で明示して届けてください。
- 2. 一棟又は一世帯毎に届け出てください。
- 3.「建物の状況」欄
  - ① 建物所有者又は管理者が届け出る場合のみ記入してください。
  - ② 用途欄は、住宅のみの建物の場合は「住宅」、住居と店舗や事務所が一緒になっている建物は「併用」、住居がなく店舗、事務所等のみの建物は「産業」、前記以外の建物は「その他」と記入してください。
- 4.「罹災者」欄は、世帯が現に罹災した世帯の全員を記入してください。
- 5. 収容物が損害を受けたときは、様式第2号の2に記載し添付してください。
- 6. 出火時刻、建物の状況等にあっては、分かる範囲内で記入してください。
- 7. 記入要領が分からない場合は消防署でおたずねください。
- 備考 この用紙は、日本産業規格A4とする。

## 収容物等損害明細書

品 名	数量	購入年月			罹災種別	損害額(円)
		R·H·S	年	月	焼 消 炸	暴
		R·H·S	年	月	焼消炸	瀑
		R·H·S	年	月	焼消炸	瀑
		R·H·S	年	月	焼 消 炸	瀑
		R·H·S	年	月	焼消炸	瀑
		R·H·S	年	月	焼 消 炸	瀑
		R·H·S	年	月	焼 消 炸	瀑
		R·H·S	年	月	焼 消 炸	瀑
		R·H·S	年	月	焼 消 炸	瀑
		R·H·S	年	月	焼消炸	瀑
		R·H·S	年	月	焼 消 炸	瀑
		R·H·S	年	月	焼 消 炸	瀑
		R·H·S	年	月	焼 消 炸	瀑
		R·H·S	年	月	焼消炸	瀑
		R·H·S	年	月	焼 消 炸	瀑
		R·H·S	年	月	焼消炸	集
		R·H·S	年	月	焼消炸	集
		R·H·S	年	月	焼消炸	瀑

## [記載要領]

- [記載要領]

  1. 品名は、家具、什器、衣類、業務用什器、機械設備、商品など罹災した物件を記入してください。なお、罹災した物件が多数の場合は、同じ種類ごとにまとめて記入してください。(例、タンス類5点、衣類20点、食器類10点、金物商品類50点など)

  2. 罹災種別の「焼」は焼けたもの、「熱」は熱によって破損したもの等、「消」は消火作業等による水損、破損、汚損等で罹災したもの、「燥」は爆発によって破損したもので該当するものに○印を記入してください。

  3. 損害額は取得時の金額で、記憶がない場合は推定でも結構です。商品の場合、卸価、小売価を記入してください。

  ### 1. この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

  2. この様式は、罹災届(様式第2号)に添付してください。